

【参考】学校配置の適正化（統合）後の児童・保護者・教職員の声

これまでに学校配置の適正化（統合）を経験した関係者の声です。統合前は児童も保護者も「新しい友達ができるのか」など、新しい学校への不安や心配があるかと思っています。

しかし、統合後半年後に実施したアンケートでは、児童が新しい学校に慣れてくると、児童にも保護者にも、統合してよかったという声が多く聞かれるようになりました。

◆アンケート結果より、主な意見を抜粋

児 童

- ・学校に行くのが楽しくなった。
- ・新しい友達ができた。
- ・学校がにぎやかになった。
- ・みんなで遊べるようになった。
- ・初めてのクラブがあって楽しい。

保 護 者

- ・新しい友達が増えた。
- ・よりたくさんの人と関われるようになった。
- ・以前は、クラス替えがなく、グループに入れられないこともあったが、人数が増え、いろいろな子と仲良くできている。
- ・校区が広くなり、行動範囲が広がった。

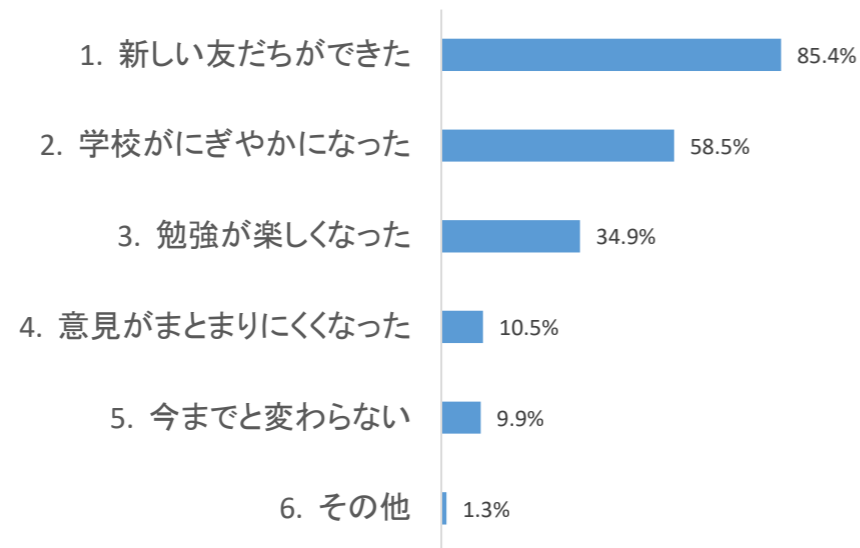
教 職 員（統合による改善・効果に関すること）

- ・児童の交友関係が広がり、お互いの違いを認め合う感性が養われているように感じる。
- ・行動範囲が広がり、多様な友達と関わり、より楽しそうにしている。
- ・教職員数が増え、児童に複数の指導者で教育する体制が整備された。
- ・教職員数が増え、お互いに助け合い、学び合い、高め合う機会が増えた。

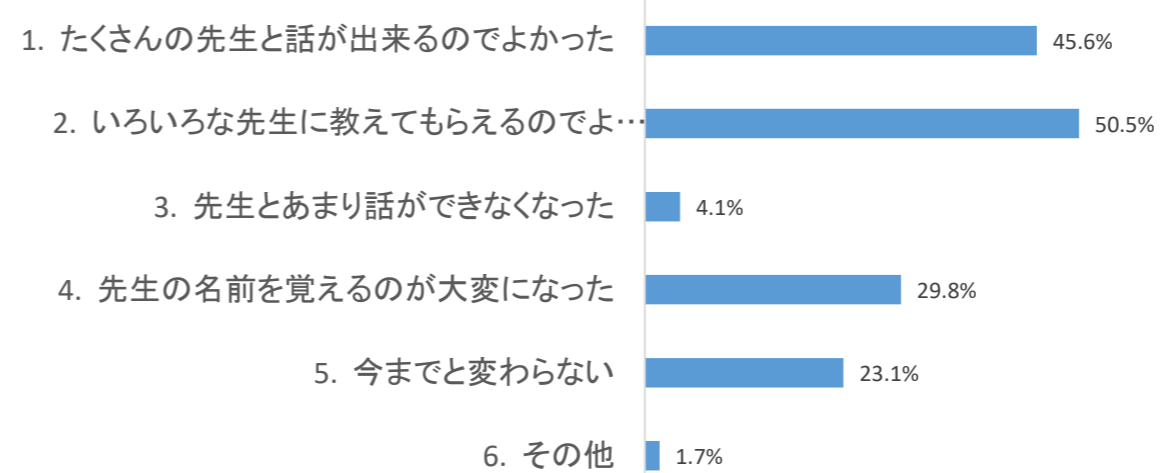
◆アンケート結果(児童) 回答数467人

質問：今の小学校についてどう思いますか。(複数回答可)

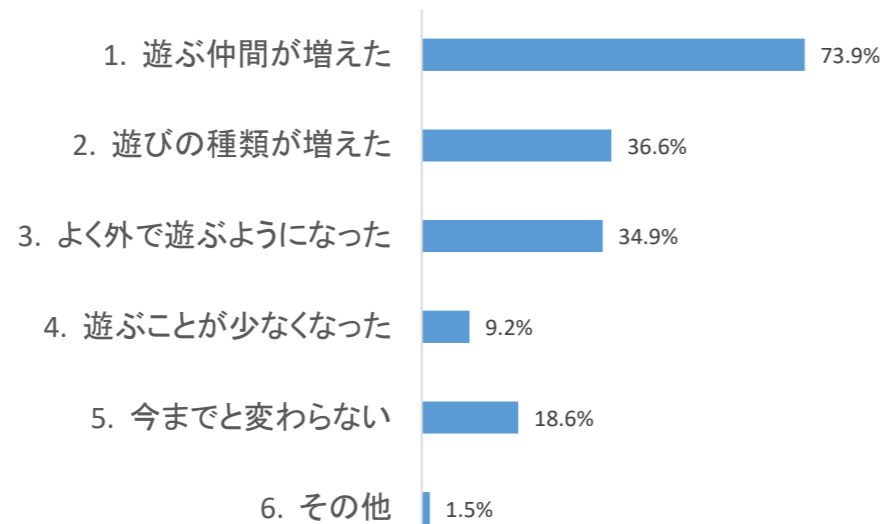
教室での様子について



先生の人数が増えたことについて



休み時間の様子について

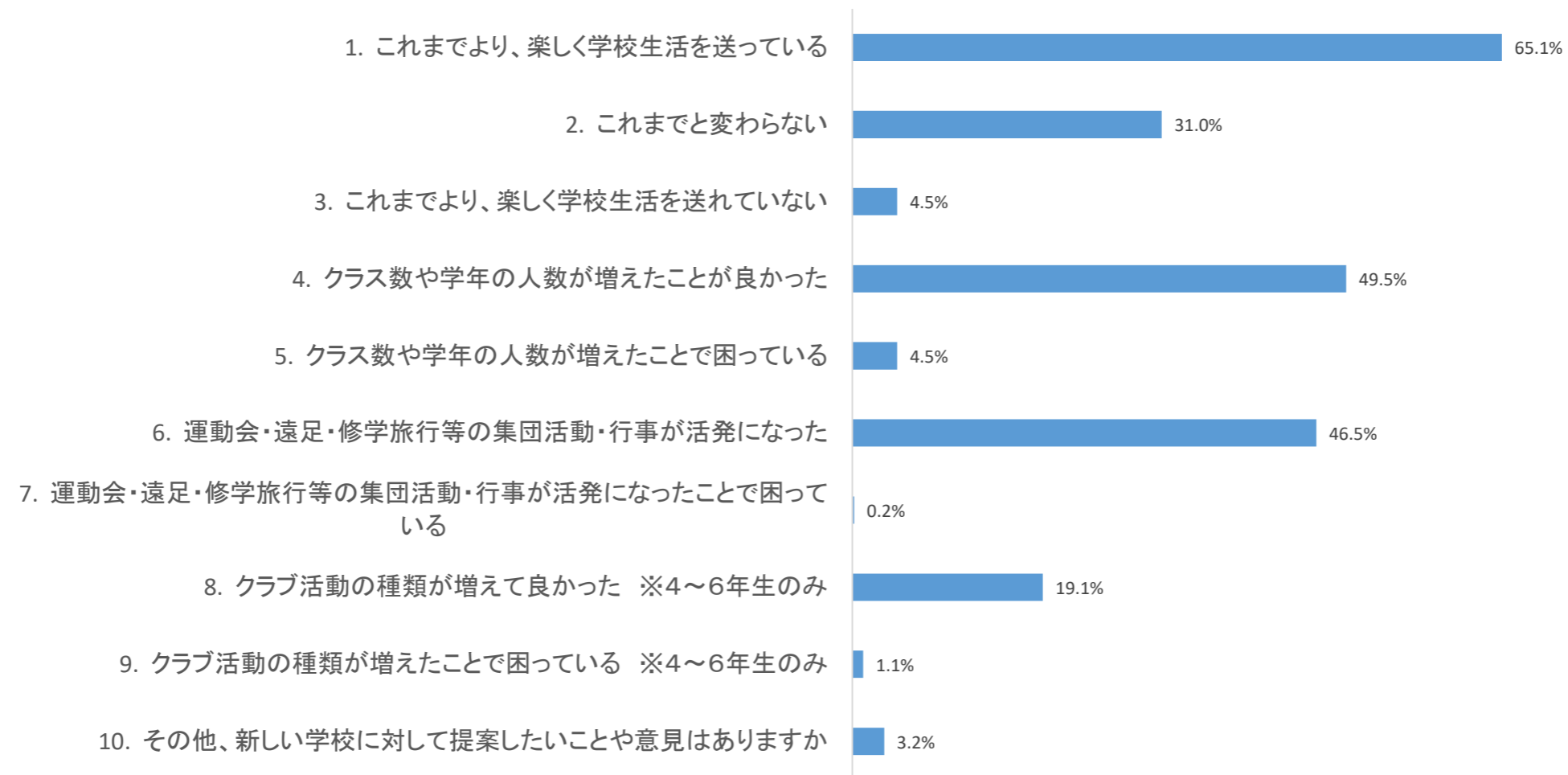


【分析】

・多くの児童が「新しい友だちができた」、「遊ぶ仲間が増えた」、「いろいろな先生に教えてもらえるのでよかった」と回答しています。

◆アンケート結果(児童) 回答数467人

質問：統合してよかったことは何ですか。(複数回答可)

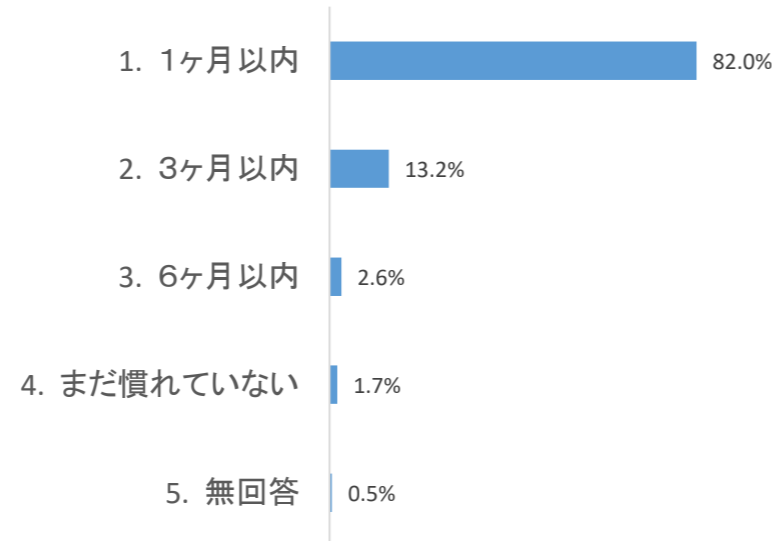


【分析】

- 多くの児童が、「これまでより楽しく学校生活を送っている」、「クラス数や学年の人数が増えたことが良かった」、「運動会など集団行動・行事が活発になった」と回答しています。
- 統合前との比較や集団規模に対して肯定的な意見であることが見受けられます。

◆アンケート結果(保護者) 回答数423人

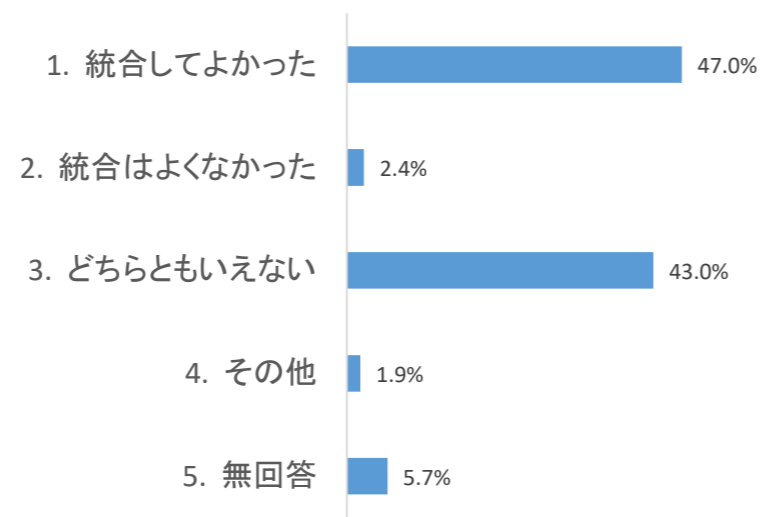
質問：お子様が、統合後の学校生活に慣れるまでにどのくらいかかりましたか



【分析】

・8割の保護者が、統合後の学校生活に1か月以内で慣れたと回答されています。

質問：お子様の様子を見て、学校を統合したことについて、どのように感じておられますか

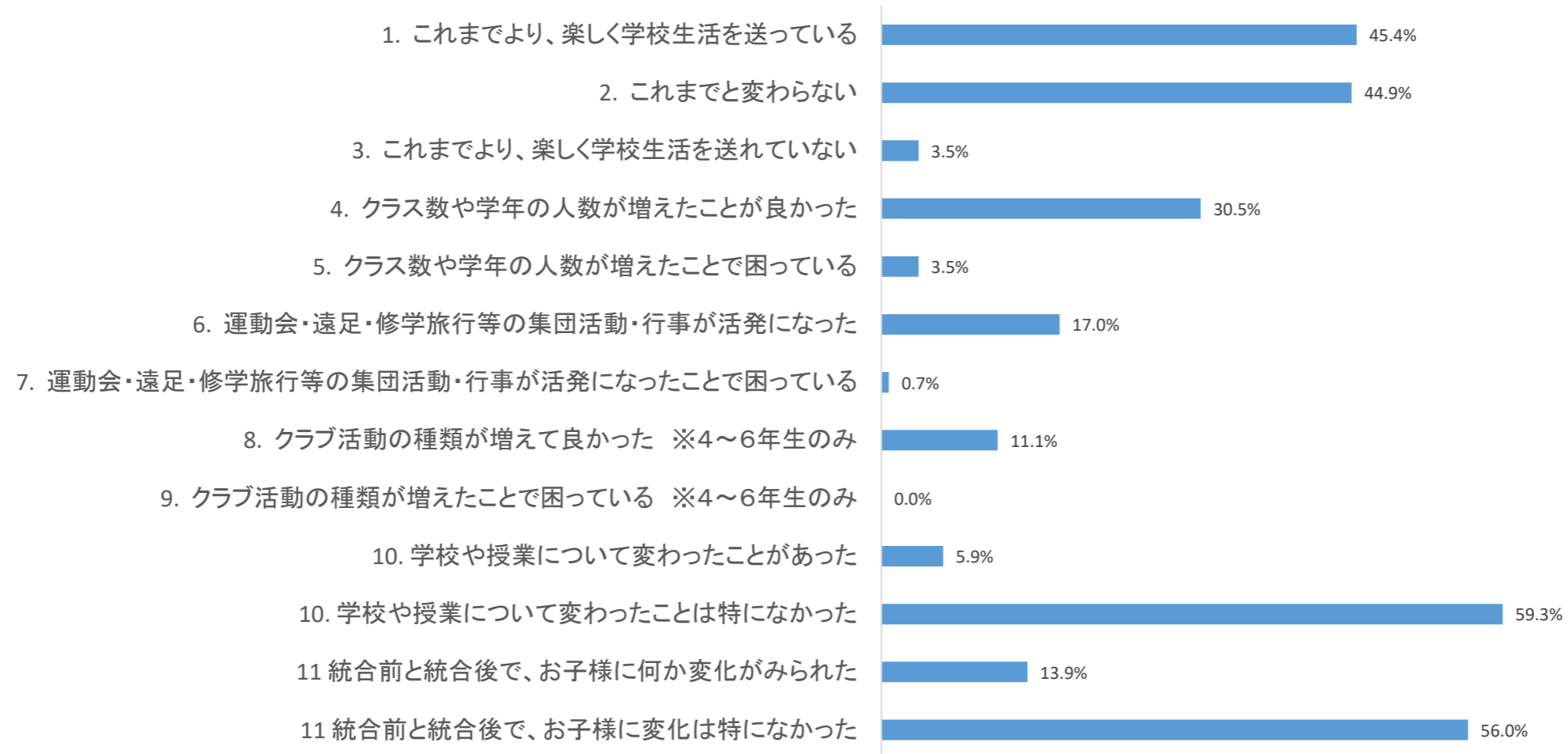


【分析】

・半数近くの保護者が統合してよかったと回答されています。

◆アンケート結果(保護者) 回答数423人

質問：統合してよかったことは何ですか。(複数回答可)



【分析】

- 半数近くの保護者が、「1 これまでより楽しく学校生活を送っている」と回答されていることから、統合に関して肯定的な傾向であるとうかがえます。
- わずかではありますが、「5 人数が増えたことで困っている」と回答されています。しかし、人数が増えたことにより、多様な考え方に出会うことは必然であり、そこでの経験が社会性や規範意識を身につけることができる要因にもなると考えられます。

保護者や地域のみなさんからいただいた質問の一部を紹介します（既再編実施校）

Q
学校配置の適正化を行う場合、いつまでに行うことになるのでしょうか。

A
子どもたちの教育環境の向上を中心に考えて、施設面等を考慮し最短となる「学校再編整備計画」を策定、公表し、保護者・地域住民の方々の意見を伺いながら、段階的に取り組みを進めていきます。

Q
学校配置の適正化に伴って、登下校の安全対策はどのように考えていますか。

A
保護者や地域住民の方々と、通学路の現地確認等を行うだけでなく、地元警察や関係機関と連携して、子どもたちの安全確保に努めます。

Q
子どもたちが新しい学校になじむために、どんなことに配慮してもらえますか。

A
適正化前から、対象校同士の交流活動を実施するなどの取り組みを進め、適正化による環境変化に伴う、子どもたちの心理的負担を軽減させるように努めます。

Q
現在、小規模校ですが、子どもも保護者も地域も現状に不満がなく、むしろよい面の方が多いと思っているのですが、それでも適正化は必要でしょうか。

A
確かに小規模校は、少人数で学校としてまとまりやすく、互いの関係を深めた教育活動ができます。しかし一般的に小規模校は、子どもたち同士の間人間関係が固定化し、切磋琢磨する機会が少なくなるなどの課題があると考えられます。教育委員会は、学校は一定の集団規模が望ましいと考えており、学校配置の適正化を進めています。

Q
適正化した後の学校の跡地はどのように使われるのですか。

A
学校は、地域コミュニティの拠点であり、投票所や災害時の避難場所としても活用されていることから、跡地利用については地域住民の方々の意見や要望を十分に聞きながら、区中心に街づくりの観点から検討していきます。

【参考】学校選択制検証のためのアンケート概要

- 実施年度：令和2・3年度
- 回答者：小中学校入学児童生徒の保護者（17,616人）
 - 地域団体関係者（770人）
 - 小・中学校長（416校）

抜粋（抄）

Q 学校選択制は大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思えますか

○保護者	良い制度だと思う	74.8%（13,175人）
	どちらでもない・無回答	18.7%（3,301人）
	思わない	6.5%（1,140人）
○地域団体関係者	良い制度だと思う	51.0%（393人）
	どちらでもない・無回答	23.0%（177人）
	思わない	26.0%（200人）

Q 学校選択制によって、子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると思えますか

○保護者	思う	58.9%（10,370人）
	思わない	12.6%（2,219人）
	わからない・無回答	28.5%（5,027人）